

## F A S A大交流会の感想

平成 29 年 2 月 3 日

TSA 会員 細矢 輝夫

F A S A 全国大会が、平成 28 年 11 月 11 日仙台市パレスへいあんにて開催されました。

私ども TSA 設立 20 周年記念行事の一環として、大会が企画実行されました。この大会には各地域会の絆を強める大交流会があります。

この度の大交流会には FASA に加盟する全国各地域会の理事のみなさんをはじめ私ども TSA と連携する官公庁、関連団体のご来賓の皆様及び顧問の先生そして賛助会員並びに正会員併せて総数 140 名の皆様に出席頂きまして盛大に行われました。



遠路遙々お越し下さいました各地域会の皆さんに心から御礼申し上げます。

大交流会は、肅々として式次第に沿って流暢な女性司会者により進行し、開会宣言、実行委員長の主旨説明、会長挨拶、また国土交通省、宮城県および仙台市よりご来賓の挨拶を頂戴いたしました。私たちは震災から立ち上がり、将来への展望を共に手を携え自ら切り拓いてゆかなければなりません。大会テーマそのものを訴えているように感じました。



功労者表彰式に関西の谷尾俊弘様と共にT S Aから石川高穂元会長、白鳥行則元副会長のお二人が表彰されまして大変名誉で喜ばしく存じました。

いよいよ乾杯のご発声で宴が始まり、東北大学交響楽団有志による金管六重奏が奏でられるとステージ上の大交流会の横看板が勇ましく見えてきました。



会場狭しと埋め尽くした出席者の皆さんは、暫しの間久し振りの再開に和やかに談笑し、料理を堪能し美酒に心地よく酔いしれていると、大抽選会がアナウンスされました。

大抽選会が開始され、当たり番号が告げられる度に会場は興奮の坩堝と化し、自分の籤番号を何度も確かめあい、当たり番号を待つ心境も楽しいものではないかと思えます。

当たった賞品の大きさが小さかった場合開けてびっくり高価な品物に喜ぶ振る舞いは実に微笑ましく感じられました。

残念ながら当たり番号が告げられても申告無い場合もあり、当たり番号をじっと耐えて待っておられる方もございました。が、お陰様にてお開きまで会場は大賑わいで、席を後にするのが恨めしくさえ思いました。



隣県の招待者（JSCA ブロック長）のお二人はこの大交流会に触発されて地域会設立に係わって頂けたらと願わずにられません。

この大賑わいは、賞品のご提供下さいました各地域会の皆様と賛助会員の皆様のご支援・ご協力の賜と心より感謝申し上げます。有難うございました。

また用意周到に企画・準備等に尽力されました井戸川隆一会長、そしてその所員であられます大築様に心から敬意を表したいと思えます。

次回開催地であります東海地域会の皆様とお会いできますこと楽しみにしています。